

令和7年度 第6学年（国語）年間学習計画

学 習 内 容		年 間 学 習 目 標
4	つないで、つないで、一つのお話 準備 伝わるかな、好きな食べ物 帰り道 公共図書館を活用しよう	【知識及び技能】 ○日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ○筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 ○言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
5	漢字の形と音・意味 春のいぶき 聞いて、考えを深めよう 漢字の広場①	
6	笑うから楽しい 時計の時間と心の時間 文の組み立て たのしみは 天地の文	
7	情報と情報をつなげて伝えるとき デジタル機器と私たち	
9	夏のさかり 私と本 星空を届けたい せんねんまんねん 名づけられた葉 いちばん大事なものは インターネットでニュースを読もう 文章を推敲しよう	
10	漢字の広場② やまなし イーハトーヴの夢 漢字の広場③ 熟語の成り立ち 秋の深まり みんなで楽しく過ごすために	
11	話し言葉と書き言葉 古典芸能の世界 狂言「柿山伏」を楽しもう 『鳥獣戯画』を読む	
12	カンジー博士の漢字学習の秘伝 漢字の広場④ ぼくのブック・ウーマン おすすめパンフレットを作ろう 冬のおとずれ	
1	詩を朗読してしょうかいしよう 知ってほしい、この名言 日本の文字文化 仮名づかい 漢字の広場⑤ 「考える」とは	
2	使える言葉にするために 日本語の特徴 大切にしたい言葉 人を引きつける表現	
3	今、私は、ぼくは 漢字の広場⑥ 海の命 中学校へつなげよう 生きる	
〈評価について〉 ○課題への取組を基に、学習の様子を評価します。 ○言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識・技能を習得しているか。 ○日常生活における人との関わりの中で、思いや考えを伝え合う力を高め、思考力や想像力を養っているか。 ○言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、思いや考えを伝え合おうとしているか。 以上のことを、単元ごとのテストや授業での発言内容、ノートや提出物、授業での発言内容、作文、発		
〈学習方法など〉 ○漢字の定着を図るために、漢字ドリルや漢字学習ノートを使います。 ○進んで読書をするために、学習情報センターを活用します。週1回、朝読書の時間を設けます。		

令和7年度 第6学年（社会）年間学習計画

月	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
4	1ともに生きる暮らしと政治 (1) 憲法とわたしたちの暮らし	【知識及び技能】 ○ 我が国の政治の考え方と仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
5		
6	(2) わたしたちの暮らしを支える政治	
7		
9	2日本の歴史 (1) 国づくりへの歩み	
10	(2) 大陸に学んだ国づくり (3) 武士の政治が始まる (4) 室町文化と力をつける人々 (5) 全国統一への動き	
11	(6) 幕府の政治と人々の暮らし (7) 新しい文化と学問 (8) 明治の新しい国づくり	
12	(9) 近代国家をみざして (10) 戦争と人々の暮らし 1 (11) 平和で豊かな暮らしをみざして	【思考力、判断力、表現力等】 ○ 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
1	3世界の中の日本 (1) 日本とつながりの深い国々	
2		
3	(2) 地球規模の課題の解決と国際協力	【学びに向かう力、人間性等】 ○ 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。
〈評価について〉 ○ 課題への取組を基に、学習の様子を評価します。あゆみには、発言や話し合い活動で考えたことや選択・判断したこと、単元ごとのテストやワークシート、ノートなどの記述から評価します。 ○ 我が国の政治の考え方と仕組みや働き、先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているかを評価します。 ○ 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力が身に付いているかを評価します。 ○ 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を評価します。		
〈学習方法など〉 ○ テレビや新聞で、政治や歴史、他の国々について流れる情報について関心がもてるような働きかけをします。 ○ 知識を記憶するのではなく、歴史の事象の原因や理由を自分で考えることができるようにします。調べ学習、インターネットの利用などから情報を得る活動を通して、国際社会における日本の役割について考えられるようにします。		

令和7年度 第6学年（算数）年間学習計画

月	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
4	★学びのとびら	【知識及び技能】
5	1. 対称な図形	○ 分数の計算の意味、文字を用いた式、図形の意味、図形の体積、比例、度数分布を表す表などについて理解するとともに、分数の計算をしたり、図形を構成したり、図形の面積や体積を求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
6	3. 分数×整数、 分数÷整数、 分数×分数	【思考力・判断力・表現力等】
	4. 分数÷分数	○ 数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見いだすとともに、目的に応じて多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力、身の回りの事象から設定した問題について、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して適切な手法を選択して分析を行い、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察したりする力などを養う。
	●分数の倍	
	★どんな計算になるのかな？	
	☆おぼえているかな？	
7	5. 比	【学びに向かう力・人間性等】
	☆おぼえているかな？	○ 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。
	★算数で読みとこう	
9	6. 拡大図と縮図	
	7. データの調べ方	
	◆他教科との関連：英語	
10	8. 円の面積	
	☆おぼえているかな？	
	9. 角柱と円柱の体積	
11	10. およその面積と体積	
	☆おぼえているかな？	
	★考える力をのばそう	
12	11. 比例と反比例	
	12. 並べ方と組み合わせ方	
	★考える力をのばそう	
	★算数で読みとこう	
1	●データを使って 生活を見なおそう	
2	13. 算数のしあげ	
3	★算数卒業旅行	
〈評価について〉 ○ 基本的な数量や図形の意味及び意味、性質や数量関係、表やグラフなどの意味を確実に理解しているか、小学校での算数の学習で身に付けた技能を生かしながら、適切な数理的な処理や表現ができ、発展的な場面においても活用可能な技能になっているか。 ○ 「数と計算」「図形」「測定」「データの活用」で身に付ける力を用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察したりしているか。 ○ 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えているか、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しているか、問題解決の結果を常に評価・改善し続けようとしているか。 以上のことを単元ごとのテストや学習の様子、発表、ノートのとり方やコンパス、定規の使い方を基に評価します。		
〈学習方法など〉 ○ 対称の図形や速さの求め方など、理解の定着に時間のかかる分野は継続的に復習します。 ○ 表やグラフの読み取りなど、日常の場面で算数で学んだことを活用します。 ○ 個に応じた指導を行うため、学習内容ごとにレディネステストの結果をもとに習熟度別少人数指導を実施します。 ○ 算数の学習内容の定着を図るために、既習内容の復習に継続的に取り組みます。		

令和7年度 第6学年（理科）年間学習計画

月	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
4	◎わたしたちの生活と環境	【知識及び技能】 ○ 物質・エネルギー 燃焼の仕組み、水溶液の性質、てこの規則性及び電気 の性質や働きについての理解を図り、観察、実験などに 関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ○ 生命・地球 生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わり、土地の つくりと変化、月の形の見え方と太陽との位置関係につ いての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技 能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ○ 物質・エネルギー 燃焼の仕組み、水溶液の性質、てこの規則性及び電気 の性質や働きについて追究する中で、主にそれらの仕組 みや性質、規則性及び働きについて、より妥当な考えを つくりだす力を養う。 ○ 生命・地球 生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わり、土地の つくりと変化、月の形の見え方と太陽との位置関係につ いて追究する中で、主にそれらの働きや関わり、変化及 び関係について、より妥当な考えをつくりだす力を養う。 【学びに向かう力・人間性等】 物質・エネルギー ○ 燃焼の仕組み、水溶液の性質、てこの規則性及び電気 の性質や働きについて追究する中で、主体的に問題解 決しようとする態度を養う。 生命・地球 ○ 生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わり、土地の つくりと変化、月の形の見え方と太陽との位置関係につ いて追究する中で、生命を尊重する態度や主体的に問 題解決しようとする態度を養う。
5	◎学習の準備	
6	1. ものの燃え方	
7	2. 植物の体のつくりとはたらき①日光との関わり	
9	3. 人やほかの動物の体のつくりとはたらき	
10	4. 植物の体のつくりとはたらき②水との関わり	
11	5. 生物と地球環境	
12	6. 月と太陽	
1	7. 水よう液の性質	
2	8. 土地のつくりと変化	
3	9. てこのはたらき	
	10. 私たちの生活と電気	
	11. かけがえのない地球環境	
〈評価について〉 ○ 単元ごとの評価テストと合わせて、問題解決の流れを記したノートやワークシート、学習のまとめなどから評価し ます。 ○ 自然の事物・現象を多面的に考える活動を通して、より妥当な考えをつくりだし、表現したことを評価します。 ○ 観察や実験に対する態度や発言などから主体的に問題解決しようとする態度、生命を愛護する態度を評価しま す。また、安全に配慮して取り組む姿を評価します。		
〈学習方法など〉 ○ てこの規則性、月の形の見え方と太陽との位置関係などの問題に対し、起因する働きを多面的に調べさせます。 そこで、より妥当な考えをつくりださせます。 ○ テレビや新聞などで流れる自然や環境についての情報に関心をもたせ、自然環境を大切にし、保全に寄与しよ うとする態度を育成します。そのために、環境などに関する催し物や科学館などについても紹介します。 ○ ICT機器を活用し、視覚的に学んでいきます。		

令和7年度 第6学年（音楽）年間学習計画			
月	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標	
4・5	○歌声をひびかせて心をつなげよう ペガサス おぼろ月夜	〔知識及び技能〕 ○ 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 ○ 〔思考力、判断力、表現力等〕 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲の演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 ○ 〔音楽表現の技能〕 主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	
6	○いろいろな音のひびきを味わおう 木星 ラバーズ コンチェルト ボイスアンサンブル		
7	○日本や世界の音楽に親しもう 越天楽今様 雅楽「越天楽」		
9	世界の国々の音楽 ○詩と音楽との関わりを味わおう われは海の子		
10	○和音のひびきや音の重なりを感じ取ろう 星の世界 雨のうた		
11	「雨のうた」の和音で旋律づくり ○曲想の変化を楽しもう 思い出のメロディー		
12	ハンガリー舞曲 第5番		
1	○詩と音楽の関わりを味わおう 滝廉太郎の歌曲 ふるさと		
2・3	○音楽で思いを伝えよう きつと届ける メヌエット 街にだかれて 卒業式の曲 君が代		
〈授業の工夫〉 ○ 家庭学習の内容は、その後の授業において振り返りを行い、習得が不十分な部分については、一斉授業で補います。 ○ 自分の表したい音楽表現ができるように、段階的に学習します。 ○ 様々な音楽に親しみ、曲や演奏のよさを得られる教材を用意します。 友達と音楽活動をする楽しさを大切にしながら、自分の感じたことや表現を主体的に伝え合う場を多く設定します。			
〈評価について〉 ○ 題材の表現や技能だけでなく、主体的に音楽活動に取り組んでいるかを評価します。 ○ 音楽表現を考え、どのように歌ったり、演奏したりするか思いや意図をもって工夫している様子を評価します。 ○ 友達との音楽活動を楽しみながら主体的に取り組んだり、音楽に対する様々な感じ方や考え方を認めたりする様子を評価します。			

令和7年度 第6学年（ 図工 ）年間学習計画

月	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
4 5 6 7 9 10 11 12 1 1 2 3	オリエンテーション 絵の具スケッチ 音の絵 この筆あと、どんな空？ くるくるクランク ここから見ると 感じて考えて 自然を感じるすてきな場所で 未来のわたし 絵を飾ろう デッサンチャレンジ 思い出つめこんで 私の感じる和 あったらいいなプロジェクト	【知識及び技能】 ○ 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を活用し、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ○ 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力】 ○ 主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。
〈評価について〉 ○ 出来上がった作品の他に、一人一人の活動の様子(集中しているか、楽しんでいるか)や作品の制作過程(学習したことを生かして作っているか、安全に気を付けて作っているか、自分なりの工夫がされているか)を授業観察の中で見ていきます。 ○ 作りたい作品のアイデアや作ってみて感じたこと、自分の作品についての説明、友達の作品を見て感じたこと等が書かれたカードや、題材のふり返しワークシートから、どのように感じたり考えたりしたのかを見ます。		
〈学習方法など〉 ○ 教科書に掲載されている参考作品を鑑賞し、形や色の良さを感じとり、自分の作品づくりに生かしたり、教師が提示した作品から作品作りのヒントを得たりします。 ○ これまでの作品づくりから得た学びを生かしたり、使う材料でできることを、色々と試してみる。		

令和7年度 第6学年(家庭)年間学習計画

月	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
4	◆1.見つめてみよう生活時間② (1)生活時間を見つめてみよう (2)生活時間を工夫しよう (3)生活時間を有効に使おう	【知識及び技能】 ○ 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
5	2.朝食から健康な1日の生活⑩ (1)朝食の役割を考えよう (2)いためる調理で朝食のおかずを作ろう (3)朝食から健康な生活を始めよう	【思考力・判断力・表現力等】 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、 ○ 様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。
6	3.夏をすずしくさわやかに⑧ (1)夏の生活を見つめよう (2)すずしくさわやかな住まい方や着方をしよう (3)夏の生活を工夫しよう	【学びに向かう力・人間性等】 家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の 人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよ ○ りよくしようと工夫する実践的な態度を養う。
7		
9	4.思いを形にして生活を豊かに⑭ (1)目的に合った形や大きさ、ぬい方を考えよう (2)計画を立てて、工夫して作ろう (3)衣生活を楽しく豊かにしよう	
10		
11	5.まかせてね今日の食事⑩ (1)献立の立て方を考えよう (2)1食分の献立を立てて、調理しよう (3)工夫してよりよい食事にしよう	
12	生活を変えるチャンス!③	
1	6.冬を明るく暖かく⑤ (1)冬の生活を見つめよう (2)暖かい着方や住まい方をしよう (3)冬の生活を工夫しよう	
2	7.あなたは家庭や地域の宝物② (1)家族や地域の一員として (2)私から地域につなげよう!広げよう! (3)もっとかがやくこれからの私たち	
3	8.生活を変えるチャンス!③	
<評価について> ○ 課題への取組を基に、学習の様子を評価します。 ○ 家族や家庭、衣食住、消費や環境など日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能については、単元ごとのワークシートやテスト、実習や作品で評価します。 ○ 日常生活の中から課題や解決方法を考え、実践し、生活をよりよくしていこうとする思考・判断力・表現力等は、授業中の発言内容やワークシート、テストで評価します。 ○ 家庭生活などの大切さに気付き、家族や地域の一員として生活をよりよくしようとする学びに向かう力や人間性等は、授業中の発言内容や制作、実習時の態度、普段の学習の様子で評価します。		
<学習方法など> ○ ワークシート等を使って家庭学習を行い、授業で知識や技能を定着させます。 ○ 学校生活だけではなく、家庭生活においても学習したことを生かし、よりよい生活にするための工夫ができるよう、学習内容を広げていきます。 ○ 学習したことを家庭で生かしたり、調理や掃除などを家庭学習で取り組ませたりして、進んで家庭の仕事をする子供の育成をめざしていきます。		

令和7年度 第6学年（ 体育 ）年間学習計画

月	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
4	体ほぐしの運動	【知識及び技能】 ○ 各種の運動の楽しさや喜びを味わい,その行い方及び心の健康やけがの防止,病気の予防について理解するとともに,各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ○ 自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け,その解決のための方法や活動を工夫するとともに,自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力・人間性等】 ○ 各種の運動に積極的に取り組み,約束を守り助け合って運動をしたり,仲間の考えや取組を認めたり,場や用具の安全に留意したりし,自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また,健康・安全の大切さに気付き,自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養う。
	短距離走・リレー	
5	表現	
6	鉄棒運動	
	ボール運動(ネット型)	
	保健 病気の予防	
7	走り高跳び	
9	クロール、平泳ぎ	
	体の動きを高める運動	
	マット運動	
10	ボール運動(ベースボール型)	
	保健 病気の予防	
11	ハードル走	
	跳び箱運動	
12	ボール運動(ゴール型ゲーム)	
	フォークダンス	
1	体の動きを高める運動	
	ボール運動(ゴール型ゲーム)	
2	走り高跳び	
3	ボール運動(ゴール型ゲーム)	
〈評価について〉		
○ 運動技能や知識についての評価のほか、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性を評価します。		
○ 学習カード等を用いて、自分の学習を振り返ったり、課題を見付けたりするような自己評価、友達同士の相互評価を		
○ 行います。		
約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりする様子も観察し、評価します。		
〈学習方法など〉		
○ 授業時間には運動量をしっかり確保します。動きの変化や伸びを見つけたり、考えたりしたことを友達に伝える活動を取り入れ、学び合いの時間を大切にします。		

令和7年度 第6学年（外国語科）年間学習計画

月	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
4	Unit1 This is me! 名前や好きのもの・こと、誕生日を発表する	【知識及び技能】 ○ 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ○ コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ○ 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
5	Unit2 Welcome to Japan.	
6	外国の人に興味をもってもらうために、日本の行事を紹介することができる	
7	Unit3 What time do you get up? おたがいのことをよく知るために、ふだんの生活についてたずね合うことができる	
9	Unit4 My Summer Vacation 夏休みの思い出を伝え合うために、絵日記を書くことができる	
10	Unit5 We live together. 動物の気持ちを伝えるために、ポスターを書くことができる	
11	Unit6 I want to go to Italy. 世界の国々のみりよくを伝えるために、旅行会社の人になって紹介することができる	
12	You can do it! 世界の小学生のインタビューから、大まかな内容を聞き取ることができる 司会者とゲストに分かれて、英語のトーク番組を行うことができる	
1	Unit7 My Dream 自分の将来について考えるために、「夢宣言」をすることができる	
2	Unit8 My Best Memory 思い出を共有するために、学校行事の出来事や感想を発表することができる	
3	You can do it! 世界の小学生の絵はがきから、大まかな内容を読み取ることができる English Festivalを開き、いろいろな催し物や発表を楽しむことができる	
〈評価について〉 ○ あゆみには、活動の様子や振り返りカードから聞いた音を模倣して話そうとしているか、学習した言葉を使って話そうとしているか、正しいアルファベットを使って書くことができているかなどを評価します。		
〈学習方法など〉 ○ 外国語活動では、積極的に発話することや読むこと、書くことで、実践的なコミュニケーション能力が養われます。学習した英単語や簡単な英語表現を生活の中で活用する機会を多く設けます。		

令和7年度 第6学年（ 特別の教科 道徳 ）年間学習計画

月	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標	
4	礼儀 節度、節制 親切、思いやり	（「第3章 特別の教科 道徳」の「第1 目標」） 第1章総則の第1の2の（2）に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 【第5学年及び第6学年重点目標】協働・創造 ○相手の考え方や立場を理解して支え合い集団生活の充実に努めること ○法やきまりの意義を理解し、責任ある行動をとること ○伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重すること 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 という3つの観点を想定し、教材に応じてそのうちの2つの観点を取り上げている。 （1）年間を以下の4つの「学習のまとまり」に分けています。 ・4月から5月の学習のまとまり…自己を見つめる ・6月から9月の学習のまとまり…他者との関わりを見つめる ・10月から12月の学習のまとまり…成長する自己と向き合う ・1月から3月の学習のまとまり…より広く人や社会との関わりについて考える （2）学習指導要領に示された内容項目（第5・6学年）は、それぞれの学年において網羅されています。	
5	節度、節制 伝統と文化の尊重、国や国土を愛する態度 国際理解、国際親善		
6	規則の尊重 友情、信頼 生命の尊さ 個性の伸長		
7	公正、公平、社会正義 感謝		
9	生命の尊さ 自然愛護 希望と勇気、努力と強い意志 国際理解、国際親善 善悪の判断、自律、自由と責任		
10	勤労、公共の精神 親切、思いやり 自然愛護		
11	家族愛、家庭生活の充実 よいよい学校生活、集団生活の充実 規則の尊重 正直、誠実 感動、畏敬の念		
12	伝統と文化の尊重、国や国土を愛する態度 友情、信頼		
1	相互理解、寛容 真理の探究 感動、畏敬の念		
2	よりよく生きる喜び 勤労、公共の精神 生命の尊さ		
3	よいよい学校生活、集団生活の充実 希望と勇気、努力と強い意志		
〈評価について〉 ○ 道徳科の目標「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習」が実現できていたかを評価します。そのために、授業中の発言や話し合いの様子、ノートやワークシート等への記述をもとに肯定的評価をします。			
〈学習方法など〉 ○ 教科書とノートやワークシート等を使って学習します。 ～学習の流れ～ ①教材文の状況を把握する。 ②登場人物の思いを共通理解する。 ③授業の中心で考えさせたいこと（場面）について、より深く話し合えるよう話し合い活動を行う。 ④これまでの自分を振り返り、自己を見つめる。			

令和7年度 第6学年（総合）年間学習計画

月	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
4 5 6 7 9 10 11 12 1 2 3	私の見つけた輝く人 無印キッズプロジェクト(2,3学期) 夢に向かって進もうプロジェクト	【知識及び技能】 ○ 自分の生活や身近な地域にかかわる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身につけるとともに、地域の特徴やよさが分かり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ○ 自分の生活や身近な地域の中から問いを見だし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力・人間性等】 ○ 自分の生活や身近な地域についての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を養う。
〈評価について〉 ○ テストは行わずに、発表やプレゼンテーションなどの表現、話し合い・学習や活動の様子、ワークシート・ノート・絵などの制作物のまとめ方、児童の自己評価や相互評価などを評価します。 あゆみには、活動の様子や児童が努力していたところを文章で記述します。		
〈学習方法など〉 ○ 以下の探究的な学習の一連の過程を繰り返していきながら、自己の課題を解決していきます。 ①課題の設定…体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもちます。 ②情報の収集…各教科等で身に付けた資質・能力を生かしながら、必要な情報を取り出したり、収集したりします。 （自分で見る・人から聞く・図書やインターネットで調べるなど） ③整理・分析…収集した情報を、整理したり分析したりして思考します。 ④まとめ・表現…気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、表現します。		